

現行のバス交通の見直し基準

～『出雲市公共交通システムのあり方について』の答申～
(平成 23 年 10 月 26 日答申)

1. 見直し対象の路線

波根線、大寺線、根波線、外園線、平成温泉線、うさぎ線、
佐田生活福祉バス、平田生活バス、多伎循環バス、佐田スクールバス
※概ね合併前の旧市町内で完結するバス交通

2. 指標

次の指標により利用及び経営状況の悪化を表し、基準に達した路線については、
地元と改善策・見直し協議を行う。

区分	1 便あたりの利用者数	利用者 1 人あたり経常損失
黄色信号	2. 0 人未満 (1 点)	1,000 円以上 (1 点) (1,500 円以上)
赤信号	1. 0 人未満 (2 点)	2,000 円以上 (2 点) (3,000 円以上)

※過疎・辺地を運行する路線の経常損失は 1.5 倍の金額とする。

3. 指標に基づく対応

2つの指標による点数の合計点により、次のとおり対応を実施する。

1 点	地元へ周知。地元で運行協議会を組織する。
2 点	見直し協議、改善に向けた取り組みを行う。
3 点	見直し策の再検討。抜本的な見直しに着手する。
4 点	様々な施策を講じたのにも関わらず 4 点の状態が 2 年続いた場合は、 廃止の方向で検討する。

令和3年 黄色信号 赤信号対象路線

区分	1便当りの利用者数	利用者1人当りの経常損失
黄色信号 (1点)	2.0人未満	1,000円以上 (辺地・過疎地域は1,500円以上)
赤信号 (2点)	1.0人未満	2,000円以上 (辺地・過疎地域は3,000円以上)

※「利用者1人当り経常損失」については、路線ごとの運行距離が考慮されない指標であるため、運行距離が平均より長い路線については距離補正を行う。

【みなし4条路線】 (バス会計年度)

路線名	委託業者名	運行日回数等	使用車両	1便当り利用者数 (人)	1人当り経常損失 (円)	点数 R3	点数 R2	辺地過疎	距離補正
大寺線	スサノオ観光	4.5往復	25人乗	2.1	1,313	1	1		
根波線		4往復	29人乗	1.2	2,763	3	3		
外園線		5往復	35人乗	1.6	1,485	2	1		
平成温泉線		7往復	28人乗	1.0	2,042	3	2		
うさぎ線	出雲観光タクシー	4.5往復	9人乗	1.1	3,546	3	4	辺地	

【みなし4条路線：佐田生活福祉バス】 (バス会計年度)

路線名	委託業者名	運行日回数等	使用車両	1便当り利用者数 (人)	1人当り経常損失 (円)	点数 R3	点数 R2	辺地過疎	距離補正
朝原線	スサノオ観光	火金 (1往復)	9人乗	1.2	4,651	3	3	過疎	有
原田線		月木 (1往復)		1.2	4,996	3	3	過疎	有
大呂線		月木 (1往復)		1.5	3,582	3	3	過疎	有
毛津線		水土 (1往復)		0.0	0	2	2	過疎	
佐津目線		水土 (1往復)		1.4	3,255	3	2	過疎	有
窪田橋波線		月木 (1往復)		1.6	3,053	3	1	過疎	有
城川西山中線		火金 (1往復)		2.6	2,314	2	1	過疎	有

【79条路線：平田生活バス】 (バス会計年度)

路線名	委託業者名	運行日回数等	使用車両	1便当り利用者数 (人)	1人当り経常損失 (円)	点数 R3	点数 R2	辺地過疎	距離補正
地合線	出雲市都市公社	9.5往復	59人乗*1台 29人乗*6台 26人乗*1台 25人乗*1台 15人乗*1台 14人乗*2台	3.5	922	0	0	辺地	有
坂浦線		11往復		2.7	791	0	0	辺地	有
塩津線		7.5往復		1.3	2,407	2	2	辺地	
北浜線		6.5往復		1.5	1,816	2	1	辺地	
鰐淵線		8往復		1.3	2,440	2	2	辺地	
島村線		6回		4.0	572	0	0		
鹿園寺線		3往復		1.4	1,631	2	2		
一畑薬師線		7.5往復		0.7	1,564	3	3		
猪目線		5往復		1.3	1,715	2	2	辺地	

【79条路線：多伎循環バス】 (バス会計年度)

路線名	委託業者名	運行日回数等	使用車両	1便当り利用者数 (人)	1人当り経常損失 (円)	点数 R3	点数 R2	辺地過疎	距離補正
富山線	やくも観光	4往復	28人乗	1.3	2,514	2	2	過疎	有
蔵谷線		6往復	14人乗	1.4	1,928	2	2	過疎	